

9月定期テスト対策 ① 2年

①

1 次の()の記号に適する言葉を書きなさい。

$2x+y=11$ のように、2種類の文字を含む1次方程式を(ア)といいます。

これに対して、 $2x+8=5$ のように、1種類だけの文字を含む方程式を(イ)といいます。

また、(ア)を成り立たせる x, y の値の組を、(ア)の(ウ)といいます。

2つの(ア)を1組と考えたものを(エ)といい、次のようにあらわします。

$$\begin{cases} 2x+y=11 \\ x+y=7 \end{cases}$$

(エ)で、2つの方程式を同時に成り立たせる x, y の値の組を(エ)の(オ)といい、

(オ)を求めることを(エ)を(カ)といいます。

2 連立方程式の解を求めるために、次のように1つの文字を消去して解いた。

□ の記号にあてはまることばや数、式を書き入れなさい。

$$\textcircled{1} \begin{cases} 2x+y=12 \quad \dots(1) \\ 5x-3y=19 \quad \dots(2) \end{cases}$$

y を消去するために(1)×3+(2)を計算すると

$$(\text{ア}) = 36$$

$$+) 5x - 3y = 19$$

$$(\text{イ}) x = 55$$

$$x = (\text{ウ})$$

(ウ)を(1)に代入して

$$y = (\text{エ})$$

$$\text{答} \begin{cases} x = (\text{ウ}) \\ y = (\text{エ}) \end{cases}$$

この解き方を(オ)という。

$$\textcircled{2} \begin{cases} y=4-2x \quad \dots(1) \\ 4x+y=0 \quad \dots(2) \end{cases}$$

y を消去するために(1)を(2)に代入すると

$$4x + (\text{カ}) = 0$$

整理すると

$$x = (\text{キ})$$

(キ)を(1)に代入して

$$y = (\text{ク})$$

$$\text{答} \begin{cases} x = (\text{キ}) \\ y = (\text{ク}) \end{cases}$$

この解き方を(ケ)という。